

学習できない朝日新聞

前回、集団的自衛権行使の問題を書いたが、20年前朝日新聞は偏執狂的に反対を声高に叫んでいた。朝日がわめこうが、国家の将来の問題だ。冗談でなく、朝日の主張の反対をしていれば、日本としての役割を果たすことができた。……終わりの部分、任務を終えた自衛隊員が「制服」の着用を禁止されて民間機で帰国する。当然ながら誰もスーツなんか持っていない。外務省による悪質な嫌がらせなのだが、ある程度体格も優れ、周囲の客から見たら異様な集団に違いない。この搭乗機の機長が、さりげなく隊員をねぎらうと機内が拍手に包まれた。これを読んで「感動しました」と言ってくれる人がいくらもいる。あの文章は、高山正之さんの3年前のコラム「ぼろは着てても」の無断引用です。既得権益にすがりついている、あるいは寄生している外交官なんかより、JALの機長の方がはるかに「日本」を背負っている。……ボクでさえ、子供が海外留学のとき、「外国に行ったら、君が日本の、日本人の代表である。くれぐれも卑怯未練な振る舞いをしないように」と注意する。どこかの米軍基地の出口に「ここからは君が米国だ」というのが書いてあるそうである。

高山氏が被災者に嫌われている、と書いたが、あのコラムにもその片鱗が窺える。理由はいくつかあるようだが、単に地震・津波ではなく、原発関連のことだというくらいはわかる。「自治体も今被災者になっている人々も原発の恩恵を受けてきた。事務で使用する鉛筆1本まで地元の企業が独占している。冬に出稼ぎに行かなくて済むようになったのも原発のお蔭である。『事故が起こったらさあどうしてくれる』はないだろう」という趣旨の文章を書いたことからである。遠方に避難している人々についても何か書いたらしいが、ボクにはちょっと記憶がない。ただ、この人には今まで読んできた印象では、根拠もなく無意味に他人を貶める気はないはずで、正論を述べているはずだ、と思っている。……現に、週刊誌あたりにそれを臭わせる記事が掲載されている。

原発に関しては、今どうこう言っても仕方がないが、あれは国産ではなく米国GE社製である。日本人ならこんなところに主要電源は置かないだろうという所(つまり、免震室に入れておかなかったこと)にあるのが、完成してからわかった。専門家は危惧していたが、今さら仕方がない。やむなく東電側の判断でベントをとりつけたらしいが、これが史上最大の被害を免れることになったという。どこまでが地震の被害で、どこまでが津波によるものか、よくわからないが、非常用電源を分散しておけばまだ救いはあったらしい。わかっていれば、電源喪失に至らなかった可能性が極めて高い

という。

こういう大事なことを朝日新聞は書かない。どこやらだけではなく、アメリカにもよう言えへんねん、内弁慶。ほとぼりの冷めた頃に、こそっと掲載する。ズッコイ！

しかも自身が原発反対だから、そのような記事しか掲載しない。反対意見も掲載すべきだろう。・・・「原発の危険性を訴える正義の主張に見えて、その実、ネガティブな情報だけを発信し、原発を一層の危険に曝している。」チェルノブイリで、朝日新聞などは、これから何十万人もの死者がでると書いている。そのくせ、現場を見ていない。自らの乏しい知識だけで判断するから、(さすがに捏造する学者はでてこないらしい。)考えるだけなら報道機関である必要がない。しかも、いかに他国とはいえ、人の生命に関することだ。軽々しく記事にしてほしくない。

チェルノブイリの西 50km のところに新しい都市を建設し、「子供たちのおとぎの国」をコンセプトにして、しかも事故後 1 年 8 ヶ月で造ったという。民主党幹部は復興情報を渡されながら無視した。なぜ活用してくれないのか？とされている。

チェルノブイリの人と言う、「原発だけは必要だ。日本の人にぜひ伝えてほしい」・・・被爆はしたが、その後の経済破綻で自殺者がでたときの方がひどかった。

新聞などマスメディアには多様な意見を公平に紹介する義務がある。ある意図のもとに論理的でないことをいうのは、公器として自殺行為です。

「朝日の主張は、主張として書くのはいいが、それに反対する意見も掲載しなければ。自分の脱原発の意見だけを書くというのは、マスメディア・公器とはいえない。**世論操作新聞**です」、とまともな学者は言う。・・・しかし、朝日は戦前戦後を通じて、ずっとそういう姿勢で、戦後はGHQに迎合し、時には世論に迎合し、時には反政府運動に利用されようとし、捏造・改竄も平気でおこなってきた。仮に朝日の記事が原因で損害をうけたとして訴訟を起こしたとしても、金があるから、10年、20年単位で引き伸ばす。訴えた側が根を上げるまで、知らぬ顔をしながら「公器」であることを最大限利用する。汚い！

民主党政権はウクライナからいろんな情報を得ながら、結局何もしなかった。チェルノブイリではミルクはチーズにしたが、日本ではミルクを捨て、酪農家が自殺した。

民主党政権は、福島を不幸にし、その痛みを広めて脱原発政策を推進しようとしてきた。それに加担したのが**大政翼賛会の朝日新聞**だ。・・・挙句、中国に土下座外交しかできず、結果、歴史的な惨敗をして、いまや民主党そのものが存続の危機にある。

原発がなければ、エネルギー政策全体を見直さねばならず、その戦略的な観点から、火力発電に依存すれば経済破綻に近い将来現実味を帯びてくる。朝日の狙いはこれか

もしれない。つまり日本を破綻させて中国の属国になる。朝日だけが優遇されると信じているようだが、どの世界でも「知りすぎた者は邪魔にしかならない」。いずれ抹殺される、とゴルゴ13に載ってたで。

ある（御用学者と呼ばれた）人が愛媛県原発委員になった。いわゆる「原子力村」にいた者を委員にしてもいいのか、とひとりの共産党議員が言う。県議会では、この共産党議員以外は全員反対で、否決した。当然ながら、朝日新聞は共産党議員の意見しか掲載しない。いかにも愛媛県議会が悪者になるように書く。

ドイツは国民投票で原発を廃止した。太陽光発電や風力発電で賄えるはずがない。火力発電でもたりないから、隣国から電気を購入するがこの電気は原発で生産されたものだ。そんな無茶な・・・

このたびの集団的自衛権についても、櫻井よし子さんがコラム「今も昔も変わらぬ朝日の偏り社説」でその卑劣さを指摘している。22年前のPKO（国連平和維持活動）に自衛隊が参加することに反対した、しかも執拗に。「自衛隊がPKOの任務をおびて海外に出動したとしても、それがただちに侵略につながると思う人は少ないだろう。だが、そんな心配をしている人々がアジアなどにいることを忘れてはならない」。今回も同じ論調です。「アジアなど」と書くが、一体どこの国やねん。聞いたんか？ 中国にしても韓国にしても、日本の領土を狙っているから、出て来られたら困るだけやろ？ どこの国の新聞やねん。それに無理に誤解している、あるいは誤解させようとしているようだが、日本は侵略国ではない。

ボクには到底理解できないのだが、ほとんどの捏造に朝日が絡んでいる。教科書問題にしても、「侵略」を「進攻」と書き換えていますよ、とご注進におよんだのは朝日新聞だ。しかも事実無根だったことが後で判明した。そこまで大事にするなら、また日本での販売部数激減で、配送所に無理矢理買わせるほどひどいことをするくらいなら、弱いものいじめをせずに、いっそ中国で発売したらどうや。人口は多いし、日本みたいに批判もないし、みんな喜ぶと思うで。

櫻井さんのコラムの中見出しには、「徹頭徹尾、中国寄り」とある。あんな国のどこがそんなに気に入ってるねん。

わずか10人のために北朝鮮との国交樹立ができない、と朝日も社会党のお姉ちゃんの出元某も主張するが、北朝鮮と国交樹立して何のメリットがあるねん。拉致がわかってからも「拉致はない」とホームページに書いてあったくらいだから、余程に何かあるのやろね。拉致被害者の家族からは嫌われるし、社会党の土井なんとかは結局選

挙で落選した。……世界平和のため、などとは国民は思っていないですよ。なんであんな人が選挙で当選するねん、そのほうが不思議です。

櫻井さんはさらに追い討ちをかける。「不都合な歴史を消す、中国式記憶喪失」
北京の作家、閻連科（イェン・リェン・コー）氏が「中国政府が仕掛ける記憶喪失」と題した論文を書いた。

中国政府が歴史や事実の書き換えに総力で取り組み、中国人に記憶喪失を引き起こしている、という批判を書いた。中国共産党による事実の捏造や歴史の書き換えで、きっかけは、香港で教えていたスウェーデン人教授の体験談から始まる。

40人の中国人学生に1989年6月4日の出来事を知っているか、と尋ねた。当然「天安門事件」のことだ。ボクも日付までは覚えていなかったが1989年にはボンヤリと覚えがある。恐るべし、彼らは何も知らなかった。「困惑した表情で互いに見詰め合うばかり」だったという。全世界が知っていて、中国人だけが知らされていないことは他にも多い、という。

やはり香港の教授が中国大陸の学生に、60年代初めに「3年続いた自然災害」で3000万人から4000万人が餓死したこと、つまり、毛沢東が指導した「大躍進」について尋ねた事例だ。夥しい数の農民が餓死したとき、毛沢東は「死が田畑を肥沃にする」という非情な論を展開したうえで、死体を農地に埋めさせた。

学生たちは香港の教師が彼らの祖国中国を貶めるために歴史を捏造しているのではないかと疑うような啞然とした表情を見せたという。

彼らの両親の世代が見聞している大量餓死についてまったく知らされていないことがわかる。

中国共産党の暗黒の歴史は教えられず、党は常に清く正しいと吹き込まれる。

閻氏は喪われた中国の記憶を次のようにさらに辿る。

「非衛生的な売血によるH I Vの蔓延、不法開発による数知れない炭鉱事故、いまでも続くレンガ工場の奴隷労働。有毒粉ミルク（メラミン混入）、有毒卵、有毒魚介類、廃棄油の食品への使いまわし、発ガン性野菜と果物の横行、墮胎の強要、土地建物の乱雑な解体、住民の訴えの却下、……」

こうした事例は時間の経過に伴って忘れ去られるのではなく、政府によって積極的に記憶すべきものと消し去るべきものに仕分けされて忘れ去られるということだ。問題は、共産党政府がひとりでそれをするのではなく、知的階層が政府に追従して同じことをする点だと氏は批判する。

……よくまあ、これほど数えられるなあと思っていたら、賞味期限をは

るかに超える鶏肉の使用、カビの生えた冷凍牛肉が発覚し、日本のハンバーガー・チェーンでもすでに何千人と食べてしまっている。TVや新聞はナントカの一つ覚えのように相変わらず「モラルの崩壊」と囁し立てるけれども、それはもともとモラルがある人に対する表現だろう。崩壊も何も……。

言うに事欠いて、「中国に依頼するとき、安全基準をさげてくる」だって。

どうせ、党の偉いさんは「国産」を使わないだろうが、中国大衆は丈夫やなあ、が実感。殺しても死なないゾンビみたいなもの。そういえば、毒入り餃子もあった。朝日は、忘れた頃にそういえばとかなんとか、餃子をなかなか表面に出さない。

米国で、ペットフードを食べてペットが大量に死んだ。今度は、人間の食べる物です。人間は丈夫だから。

中国は、いま周辺諸国から強権政治と批判され、現に軍事費の拡大は数年間で何倍かにいたっている、止まるところを知らないように増加する。領土拡張のため、西から南まであちこちに手をだす。

朝日新聞の特派員は、これらのことを全然知らないのだろうか。櫻井さんのコラムを読んでも、朝日新聞の社員は何も思わないのだろうか？

さらに「戦前回帰」「平和主義からの逸脱」……根拠のない非難と「国内外で理解が得られない」と本当に思っていて、22年経っても同じ論調を繰り返す、と続く。

戦前回帰というなら、戦前はすべてが悪かったのですか？もし悪なら自分も加担していたのでは？ 平和を維持するための活動が、なぜ、平和主義からの逸脱になるのですか。理解が得られない、というが、少なくともボクは理解できます。理解できない、しないのは中国と朝鮮半島だけではないか。

櫻井さんが言う、「**なぜか、イデオロギーの偏りから抜け出せない。成長出来ず、現実に背を向けて観念の世界に遊ぶような主張にとどまり続けている。**」いつも進歩していないし、学習もできない。「アジアなど」に杞憂する人々がいるという。フーン。

企業誘致で、新幹線でもそうで、ノウハウがわかれば追い出して、さも自分が考えたかのように強弁する。日本では曲がりくねった線路でも脱線転覆するようなことは決してないが、中国では、まっすぐの線路でも危ないものだ。それを日本製だからと責任転嫁されてはたまらない。また、そういうことを言い出しかねん国やから。

マスコット・キャラクターのコピーを堂々と似て非なるものをTVで流す。日本がかつて罵られたと同じく、猿真似でしかない。著作権侵害など知らないふりをする。

挙句の果てに朝日新聞の社説でか「竹島も尖閣も隣国に差し上げたら」に至っては、

売国奴（売国土か）と罵られても仕方がない。

朝日新聞の綱領には、「不偏不党の地に立って言論の自由を貫き」、「正義人道に基づいて国民の幸福に献身し」、「真実を公正敏速に報道する」、と書いてあるそうだ。……どこがやねん。朝日のしてきたことは、「言論の自由を貫き」と「敏速に報道」（これも怪しいものだが）くらいなもので、他は「そうですかあ。そういう風には思えません」 というほどの正反対のことしか報道してこなかった。

たとえば、慰安婦問題がそうで、検証してみたら？ 国民の貴重な税金の無駄遣いをさせ、真実を歪め、どこに綱領に沿った記事があるというのだ。南京大虐殺も朝日の本多が、検証もせずに、捏造された事を報道したものやろが。クリントンの嫁が、「20万人の性奴隷」と大声で演説するが、アメリカには言われたくない。戦後アメリカはなにをしてきたのか知っているのか？ ……平和を愛する国が、なぜベトナム戦争をし、イラクを攻撃するのか？ 沖縄の民間人の被害者はどうするのか？

女子挺身隊＝慰安婦などと、子供でも間違えへんわ。朝日はこれを訂正もせず、類被りしたままである。朝日の数え切れないほどの捏造記事で、どれほど多くの日本軍兵士が名誉を傷つけられ、後世の日本人が肩身の狭い思いをしてきたか。

櫻井よし子さんの説明によると、この7月7日に朝日新聞から国家基本問題研究所あてに質問状が届いた。意見広告の文中に、①「平成4年1月の訪韓で、宮澤首相が8回も謝罪」、②「朝日新聞の誤報で激高した韓国世論」とあるが、裏づけ資料はあるのかとの問いだった。

- ① については、「平成4年1月18日の朝日が報じている」と回答した。その日のコラム「時々刻々」で朝日自身が、「首相が「謝罪」「反省」に8回も言及した」と明記している。
- ② については、植村隆記者（上記、妻が韓国人で、その母親が詐欺まがいの事件をひきおこした、例の男）が、慰安婦とは無関係の挺身隊を慰安婦と結び付けて以下のように報道した。「日中戦争や第二次世界大戦の際、『女子挺身隊』の名で戦場に連行され、日本軍人相手に売春行為を強いられた『朝鮮人従軍慰安婦』のうち、1人がソウル市内に生存していることがわかり、『韓国挺身隊問題対策協議会』が聞き取り作業を始めた」

この女性が金学順さんで、軍に連行されたのではなく、義父によって売り飛ばされた薄幸の女性だったことがわかっている。この女性は、勤労奉仕の若い女性たちで構成する挺身隊とは無縁の人である。従って、彼女が女子挺身隊として戦場に連

行された事実はありません。そもそも、女子挺身隊の若い女性たちが連行され慰安婦にさせられた事実は、一例もない。全くない。

こういう事実を無視して、朝日はこの誤報を社説および天声人語で取り上げ、拡散した。……そして朝日側からは、それ以後何の音沙汰もない、という。……なっ、卑怯やろ。まさか相手が証拠を持っていたとは思わなかったのだろう。黙ってしまって、得意の頬被りです。

海を渡れば、アメリカにも同じように卑怯な新聞はある。ニューヨーク・タイムズである。ジョージタウン大学教授のケビン・ドーク氏が、タイムズの社説「安倍氏の危険な修正主義」と題して、安倍氏が南京大虐殺を否定し、慰安婦への謝罪もご破算にするつもりだ、と書いた。これは、間違っているのです、ドーク氏が指摘する。①安倍首相は南京大虐殺を否定していない。②一国の首相に対し、このような事実誤認の非難は許されない③安倍首相の発言や彼を象徴するものは、中国を戸惑わせるかもしれないが、軍事行動をとっているのは、日本ではなく中国である。④日本は60年以上、民主主義を貫く信頼に値する国だ——などを書いて投稿した。

ニューヨーク・タイムズは、安部さんと百田尚樹氏（「永遠のゼロ」の著者。NHK経営委員）との共著で百田が南京大虐殺は捏造だと語っている、と書いてもいいか。まあ、脅しをかけてきた。つまり、安倍さんを「歴史修正主義者」として貶めたい腹が見え見えである。ドーク氏は、「百田氏の見解は首相とは無関係」。結局ニューヨーク・タイムズは頬被りである。……朝日と同じレベルの新聞がアメリカにもあるんだ。……日本政府が抗議をすると、ほんのちょっと訂正記事を出したらしいが、不十分な内容で、……汚い新聞は洋の東西を選ばないらしい。朝日なんか訂正記事すらださない。

教訓：ニューヨーク・タイムズは札付きです。

それにしても、櫻井よし子さんも高山正之さんも、勝谷誠彦さんも、朝日新聞があるかぎりネタが途切れることがない。物故された中村粲さんにはNHKがあったし、ほんま羨ましいかぎりです。

ところで、「永遠のゼロ」の中で、特攻隊を貶めるようなことを言った新聞記者は、朝日の記者だと思いませんか。

2014. 08. 01.

